

健康に注意して無理のない範囲で
節電の取組みを！

がんばろう

東北！

省エネ冬の県民運動 実施中！

ご協力よろしくお願ひします

“家族団らん 楽しい省エネ運動”



エコベンファミリー
©YOC 山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

実施
期間

平成23年12月～

平成24年3月

冬期は、暖房機器の使用等によりエネルギーの消費が増える季節です。
夏期に取り組んでいただいた節電県民運動のノウハウを活かし、日常生活の中で、できる範囲で省エネに取り組みましょう。

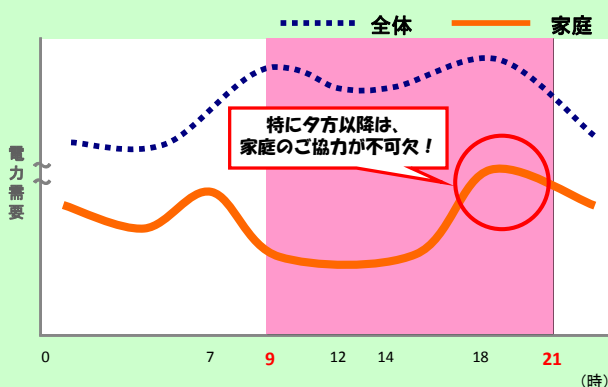
■省エネ冬の県民運動の柱

- ライフスタイルの見直しによる幅広い省エネの実施（家庭・地域の絆の強化）
- 電力需要のピークカットと総量削減に向けた節電の実施（取組みの相乗効果）
- 県民の主体的な参加による運動の展開（県民の英知を結集）

節電の取組みのお願い

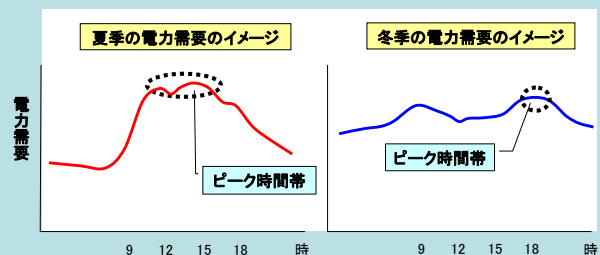
節電の目標値は定めませんが、それぞれのご事情に応じた自主的な節電にご協力をお願いいたします。

冬期平日の電気の使われ方(イメージ)



夏季と冬季の電力需要の比較

○夏季と冬季の電力需要は、「全体の傾向」と「ピークの時間帯」で特徴が異なります。



ご家庭の節電メニュー

最も需要が多い1月には3.4%の電力不足が予測されています。特に『こまめな消灯』と『待機電力のカット』に重点的に取り組みましょう！！

対象	対策メニュー	節電効果(削減率の目安)
照明	不要な照明をこまめに消す	4~6%
待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切る	4%
	使わない電気機器のプラグを抜く	

ほかにも

対象	対策メニュー	節電効果(削減率の目安)
エアコン	重ね着をして室温20℃を心がける	7%
	窓に厚手のカーテンをかける	1%
	フィルターを2週間に1回程度、掃除する	
冷蔵庫	温度設定を『弱』にする	1%
	つめこみすぎない	
ジャー炊飯器	保温機能は使用せず、1日分まとめて炊く	1%
こたつ	上掛けを活用し、暖気を逃がさない	
電気カーペット	人のいる部分だけ温める	
家族	家族そろって1部屋で過ごす	効果絶大

出展・参考：経済産業省「冬期の節電メニュー(ご家庭の皆様)」



省エネに取り組む際に御注意ください

- インフルエンザが流行する季節ですので、健康に留意して、無理のない範囲で取り組んでください。
- 高齢者や慢性の病気をお持ちの方などは、浴室・脱衣所・トイレなど、肌を露出する場所の温度管理(寒さ対策)には十分気をつけてください。
- ガス・石油ストーブ等を使用される時は、窓を開けるなどして必ず換気をしてください。
- 洗濯物や布団などは、ストーブの近くに置かないでください。

お問合せ先 山形県生活環境部地球温暖化対策課 地球温暖化対策担当

TEL. 023-630-2336 FAX. 023-630-2133 <http://www.pref.yamagata.jp>